

移住者の声 voice

移住で始まるそれぞれのぐんま暮らし

群馬に移住を決めた人にはどんな思いがあったのでしょうか。移住を決めたきっかけ、暮らしの変化などをインタビューしました。

東京都 ▶ 高崎市

2022.08



トウキョウ
TOKYO FM
おおはた じゅんこ
大畠 順子さん

都内のFMラジオ局「TOKYO FM」で主に広報を担当。昨年の夏に東京都から高崎市に移住し、現在は新幹線で通勤している。渋川市出身。

発想を変えて楽しむ「転職なき移住」

移住して見つけた、暮らしを楽しむ工夫

職場が千代田区なので東京に住んでいましたが、パートナーとの同居を機に高崎市に移住しました。移住を考え始めた頃は、通勤時間が長くなるなど、不安や問題点を1つずつ解消・解決していきました。家を購入する際、駅近くでも東京と比較して広くて安いですし、新幹線での約50分の通勤時間は自分の時間に充てられます。群馬は自然が豊かで、趣味の山登りも日帰りで行けます。実際に群馬で暮らしていく中で新たな発見もあり、充実した日々を楽しんでいます。

また平日は仕事帰りに同僚と会食したり、休日は新たにできた群馬の友人を自宅に招いたりして過ごしていま

す。同僚や友人が都内から小旅行を兼ねて遊びに来てくれることもあります。東京での人間関係は維持したまま、群馬で人や地域のつながりがプラスされ、人生がより豊かになりました。

キャリア維持(アップ) × 移住

自宅の最寄り駅である高崎駅は新幹線が止まる本数が多いなど利便性が高く、家を出てから1時間20分程度で職場に着きます。放送局に勤めているため、勤務時間が不規則になりがちですが、それほど負担なく通えています。

群馬に移住したいけど、東京での仕事を辞めなくてはと不安に思っている人がいれば、群馬に移住しても仕事を続けキャリア維持(アップ)をすることが十分可能です。また東京に住んでいて群馬に帰ってきたいと思っている友人や親族がいたら、私のように東京に通っている人もいますので、群馬への移住の後押しをしてみたいかがでしょうか。



▲休日は山登りなど、趣味のアウトドアを満喫している(西阿山から嬭恋村方面を撮影)

心をつかまれた雄大な自然と人の魅力

移住で生活が豊かに

植物から抽出した天然オイルである「エッセンシャルオイル」の製造販売業を起業したいと考え、国内外さまざまな場所を検討しました。みなかみ町に以前来た際に大自然に圧倒された記憶が残っており、改めて訪れてみると、ユネスコエコパークに認定されていることもあり自然と住民が調和して共生している姿に共感しました。また地域の人たちとの交流を深めるにつれて、町民の親身で温かい人柄に引かれ移住を決めました。

移住に当たっては、まず町役場の移住相談窓口で相談をしました。担当者は自身も移住してきた人で「移住をした後に後悔をしないよう、いろいろな人に会ったり場所を見たりしてじっくり検討してほしい」など、移住者の視点に立ったたくさんの助言をいただきました。担当者に地域の人たちを紹介してもらい情報収集することができたため、これから始める生活面や起業について具体的にイメージすることができました。



▲化学薬品などを使用せず、自然の恵みを使ったエッセンシャルオイルを製造している

雪国での生活が初めてだった

め最初は大変でした。すぐそばに大自然があり、美しい景色を見たり、地元の人から四季折々の野菜をもらったりすることが、これほどまでに生活に豊かさを与えてくれるということ、肌で感じられるようになりました。

地域の一員として

移住後は地元の人たちと交流し、みなかみ町の良さを知るにつれて、この地域に一層関わればという思いが芽生え、消防団に入団し活動しています。

今後は、商品の販売を通してみなかみ町の魅力を発信し、町の素晴らしさを世界中に広め、多くの人に訪れてもらうことで、地域活性化に貢献できればうれしいです。

関西 ▶ みなかみ町

2020.04



© 響 hibi-ki/Isao Nishiyama

リッカ
Licca
おさかべ そういちろう
長壁 総一郎さん 夫妻
さやか
早也花さん

令和2年4月に関西からみなかみ町に移住。翌月には「Licca」を立ち上げ、地元の間伐材などを活用した精油を製造・販売している。総一郎さん京都府・早也花さん大阪府出身。

移住に関するイベント情報、移住者インタビューを発信!

はじめまして、暮らしまして、
ぐんまな日々。

Days



▲詳しくはこちらから

群馬県への移住を考える人のための「ライフスタイルWEBマガジン」。今群馬に住んでいる人も、魅力を再発見できます。

表紙掲載の長田さんをはじめ、移住者のインタビューや動画などを発信中!



ぐんま暮らしは
魅力が満載です!



長田 樹郎さん

県内各地の充実したテレワーク施設を紹介!

グンマ テレワーク
GUNMA × TELEWORK



▲詳しくはこちらから

「オフィスで働く」が当たり前ではなくなった今、あなたらしく働ける場所はどこですか。県内39カ所のテレワーク施設や新しい働き方を、豊富な写真で紹介しています。



NETSUGEN(前橋市)



【打合せスペース(紫)】



【打合せスペース(グレー)】

問い合わせ先

県庁ぐんま暮らし・外国人活躍推進課 ☎027-226-2371